

## その他

### ①ワンコイン浸水センサについて

---

# ワンコイン浸水センサ実証実験の2次公募

浸水発生時の迅速な判断・情報発信に役立つ

## ワンコイン浸水センサ実証実験～官民連携による流域の浸水状況把握～

POINT!

国土交通省が浸水センサ機器を用意します。（参加者自ら用意したセンサでの参加も可能です。）

POINT!

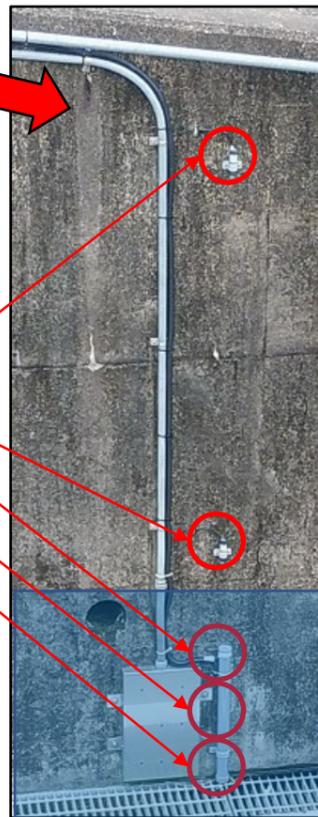
国土交通省が浸水情報をリアルタイムで収集・共有します。

### 官民連携で浸水状況をリアルタイムで把握する仕組みを作っています

国・自治体・企業・大学など、流域内のあらゆる関係者が参加して実証実験を実施中！



徳島県美波町  
(実証実験参加自治体)  
台風2号  
(令和5年6月2日)  
JR牟岐(むぎ)線  
アンダーパス浸水状況



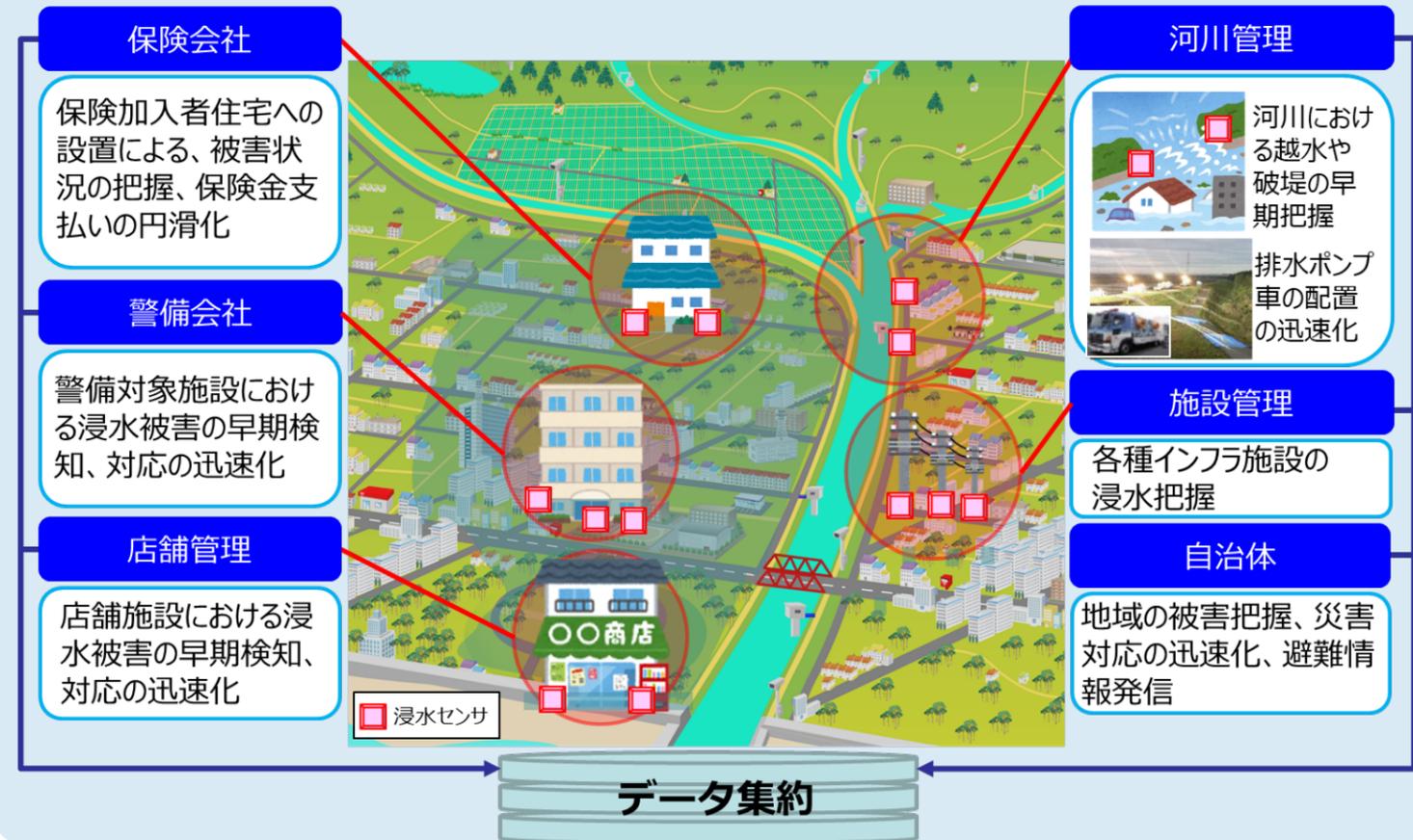
浸水エリアの表示状況(16:00)



※異なる高さに浸水センサ設置すれば浸水高さを把握することも可能です

現地の浸水深実績

### 官民連携による浸水域把握 (活用のイメージ)



国土交通省HP ワンコイン浸水センサ実証実験

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>



※5～6月頃に2次公募を実施予定のため、  
年度途中でもエントリー可能!!!

---

② 「重ねるハザードマップ」の  
ユニバーサルデザイン化について

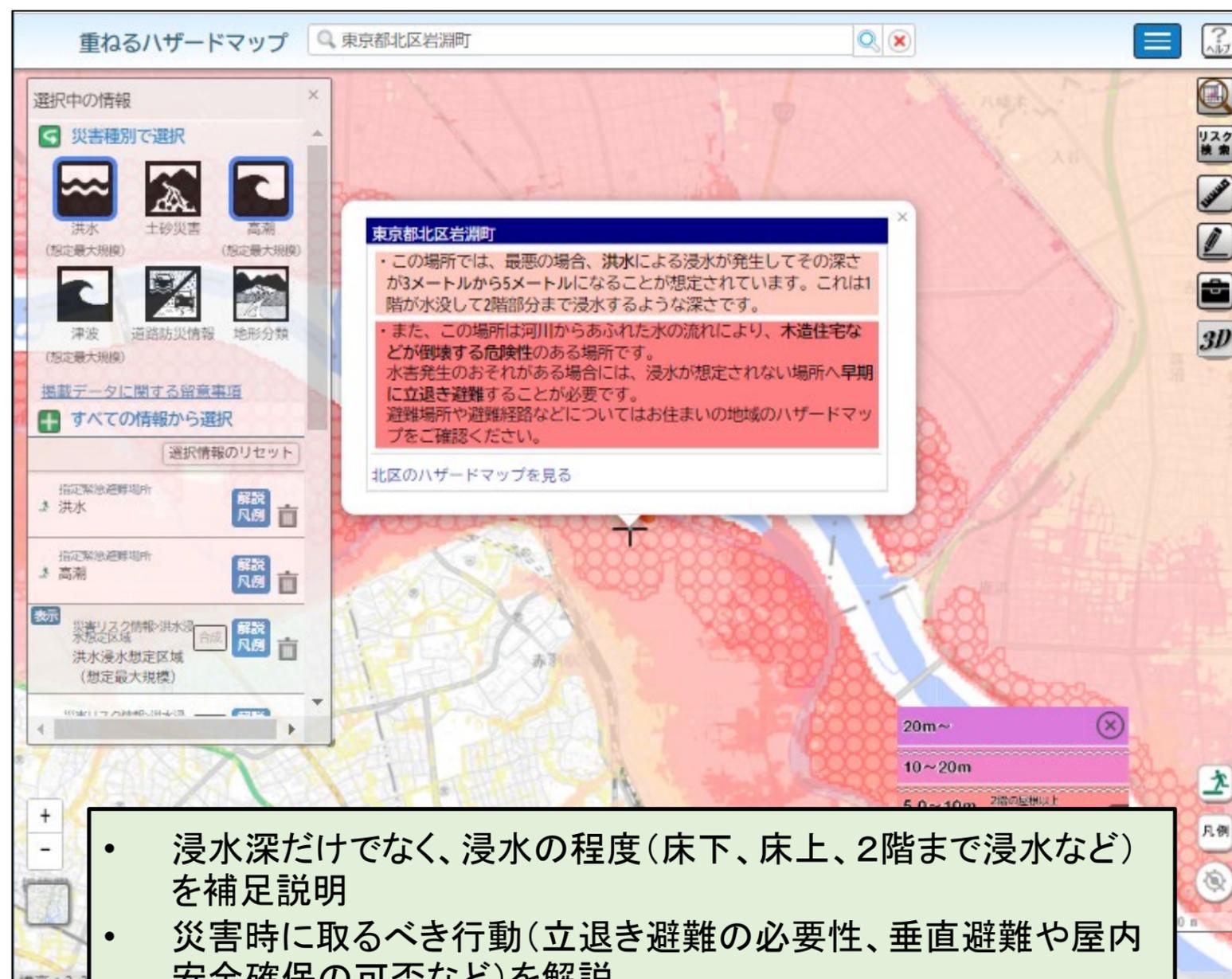
---

# 「重ねるハザードマップ」のユニバーサルデザイン化

- 視覚障害者でも、音声読み上げソフトを利用することで自宅等の災害リスクを知ることができるよう「重ねるハザードマップ」を改良。(令和5年5月30日運用開始)
- アイコンや地図上をクリックしなくても住所を入力する、または現在地を検索するだけで、その地点の災害リスクが自動的に文章で表示される機能を追加。

## トップページの改良

## 文章による災害リスクの説明



- 音声読み上げに配慮したシンプルな構成
- 住所入力 または 現在地検索すると、地図画面に移り、その場所の災害リスクが文章で表示される

- 浸水深だけでなく、浸水の程度(床下、床上、2階まで浸水など)を補足説明
- 災害時に取るべき行動(立退き避難の必要性、垂直避難や屋内安全確保の可否など)を解説
- 取るべき避難行動に対応した背景色でハザードレベルが一目で分かるよう表現